



平成27年度（2015年）総会

『豊かな自然と歴史と未来が融合したまち いこま』

実現に向けてスタート

生駒市環境基本計画推進会議



6月14日（日）14時から、生駒市環境基本計画推進会議平成27年度総会を生駒市役所大会議室で開催しました。

開会に先立ち、楠下孝雄代表は、「2年の歳月

をかけて策定した生駒市環境基本計画は、一昨年、中間見直しをおこないました。環境モデル都市やエネルギービジョンなど新たな動きあり、これらは今後の課題となります。昨年は、商工会議所を中心に新規に事業者部会を立ち上げました。本総会では忌憚のないご意見をお願いします」とあいさつしました。

ECO-net 生駒に期待 市は支援する
市全体のまちづくりを意識した活動

来賓の小紫雅史生駒市長は、つぎのように話しました。

——市政全般に協力いただいております。以前の総会でもお話ししましたが、副市長に応募するにあたり、市のことを調べました。地理・自然・子育て、それらの中で生駒市環境基本計画は中味がしっかりしている計画で、手づくり感と市民の知恵に大きな衝撃を受け、インパクトがありました。

「いこま会議」でも市民のおもてなしと話題提供発表など、具体的な活動に感銘しています。これからのキーワードは、環境・エネルギーにとどまりません。市全体のまちづくりを意識していく必要があります。全国初の住宅として環境モデルとしてこれからのあり方を具体化して形に示す時期にきています。

ECO-net 生駒には、自立的発展とまちづくりに連携した活動を期待します。これまで以上に支援の準備もすすめています。パワーのあるECO-net 生駒になってほしい。大いに期待しています。

全議案賛成多数で可決承認

新運営委員から新代表に 矢田千鶴子さん

運営委員 浦川 隆男さん 辻垣 淳一さん 福中 眞美さん

馬淵 梓さん 諸熊 えい子さん

監事 奥谷 長嗣さん 楠下 孝雄さん

司会の武田友希さんから14時現在本人出席33人、委任状35人計68人で、本総会の成立の確認報告があり、議長に下山一則さん、議事録署名人に、馬淵梓さん・楠下孝雄さん、書記に坂東大介さんを指名。

下村議長の進行で、1号議案・3号議案・5号議案を楠下代表が、2号議案・4号議案を事務局の坂東さんが提案をおこない、全議案が賛成多数で可決承認されました。

5号議案可決後、運営委員会を開催し、代表に矢田千鶴子さん、監事に奥谷長嗣さん（環境経済部長）と楠下孝雄さんを選出しました。

矢田新代表は、「10年計画の後4年の活動を考える時期です。活動の楽しさとは何か、活動の目的・着地点とは何か、そのための組織のあり方、行政や諸団体との協働を考えていきましょう」と呼びかけました。

第6回いこま環境フェスティバル
楽しみながら・味わいながら・語らいながら
心地よく『エコ』でつながる1日
 生駒市・生駒市環境基本計画推進会議

6月27日(土)10時から15時まで、北コミュニティセンターISTAはばたきで、生駒市・生駒市環境基本計画推進会議の主催で、『いこま環境フェスティバル』を開催しました。来場者は約4,500人と大盛況でした。



今年は、環境フリーマーケットやリユース市、おもちゃ病院、昨年からはじめたおもちゃの「かえっこバザール」、新企画のつなげて遊ぼうプラレール・ハイブリッドカー工作教室・やさしい木工教室・七味づくり体験、体験型の企画を増やし、「楽しみながら・味わいながら・語らいながら 心地よく『エコ』でつながる1日」を過ごしました。

10時、大ホールで、矢田実行委員長の開会宣言、小紫市長のあいさつ、オープニングイベントとして、リトルパイン総合型地域スポーツクラブがチアダンスを披露。小学1年生から6年生までの22人がポムを持って軽やかにチアダンスを披露しました。



小紫市長は、「環境フェスティバルの意味は、環境やエコを『お得・美味しい』ということからわかっていただくこと。住宅都市として日本初の環境モデル都市も、家計や経済にやさしいことにもつながること」とあいさついただきました。

生駒の生き物写真展人気投票
入賞
金賞「メジロ」 銀賞「アマガエル」
銅賞「ミシシッピーアカウミガメ」
 ECO-net 生駒自然環境部会

ECO-net 生駒自然部会の生駒の生き物写真展の人気投票は、応募作品24点総投票数550票。金賞は、堀裕彦さんの「メジロ」が受賞しました。



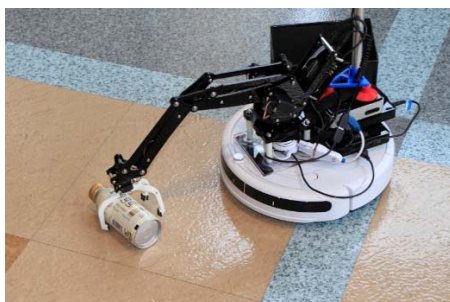
応募多数で抽選となった ハイブリッドカー工作教室
閉幕後も電動のこぎりやトンカチの音がする木工教室
おもちゃのかえっこは大にぎわい
プラレールで夢中に遊ぶ 脳トレおもちゃぐるぐる
大人気のつくるコーナー・遊ぶコーナー

- ◇事前に午前・午後各40人を抽選(倍率5~6倍)で、当日は先着順。ソーラーパネルと電池を併用したハイブリッドカーはおもちゃとは言えない仕組みに大人も感心しきり。
- ◇本物の大工道具をつかって、建築の端材でつくる木工教室。デザインも自由、使い道も自由です。
- ◇持参のおもちゃの査定ポイントと同じポイントのおもちゃをかえっこ。おもちゃのない子どもさんは、かえっこのお手伝いをしてポイントを稼ぎ、おもちゃをゲット。
- ◇40年以上前から、子どもに人気のプラレール。広い会場に自由に線路を敷いて好きな車両を走らせます。もっと遊びたいと駄々をこねる子どもさんもいました。
- ◇廃プラなどでつくった、脳トレゲームは、大人も子どもも夢中。難易度があり、できるとご褒美がいただけました。

写真でみる いこま環境フェスティバル



お掃除ロボットやがらポン 1等賞は大きなキティ人形 大学等の出展



今回の特色の1つに、学校関係の初出展が3校ありました。

◇奈良先端科学技術大学院大学のロボットアームを用いた室内掃除ロボットは、研究をスタートして約4ヶ月。はじめて研究室から出た「箱入り掃除ロボット」です。

◇帝塚山大学は、産学共同で大和野菜からつくった「ベジサイダー」の販売と大学グッズの当たるがらポン。なんと1等賞は子どもより大きいキティのぬいぐるみ。幼稚園の女の子にあたりました。

◇県立奈良朱雀高校奈良朱雀ビジネス企画部は、「生駒で結婚式をIKOMA de WEDDING」と往馬大社の結婚式を取材して

出展。住みよい環境生駒をアピールしました。

新鮮野菜や生駒市ご当地グルメのたつた揚げや焼き芋に行列

来場者が多く、早々と売り切れるブース続出の“食べる”コーナーでした。

子どもも大人も楽しみました

子どもに人気のかえっこバザールやつないでプラレールは、足の踏み場もないほどの大人気。



スタンプラリーに943人が参加

出展・出店合計45ブースで指定された25ブースのスタンプを15個以上集めると、参加賞がもらえます。環境にやさしい景品から子どもさんのよろこぶ景品まで多数用意しました。2時過ぎには参加賞が品薄になりました。

スタンプラリーの参加賞は、多くの企業や団体から協力いただきました。ご協力ありがとうございました。

参加・協力 お願いします

だんご祭りに ECO-net 生駒で出展

8月1日(土)に開催される、だんご祭りに出展します。ECO-net 生駒のブースの取り組みご協力ください。